

続報 十三駅前火災 - 西日本防災システム

2014 03 10

3月7日大阪・淀川区の阪急電鉄・十三駅前の飲食店街から発生した火災で、火元は隣接する建物とのわずかな隙間とみられるようです。警察と消防は、8日朝から現場検証をおこない、火事の原因を詳しく調べて結論を出したようです。

火災は3月7日午前6時頃、阪急電鉄十三駅前にある飲食店街から出火し、飲食店など36の店舗が入った建物11棟、あわせて約1,500㎡を焼損しました。この火災によるけが人などはいませんでした。

警察と消防は、8日午前9時半頃から現場検証を行い火事の原因を調べました。警察や消防によりますと、現場は40ほどの飲食店が密集していましたが、その中央付近にある居酒屋の経営者の女性が消防に通報した際、「店の奥にあるトイレの外側から火が出た」と話していたということです。このトイレの外側と隣接する建物の間にはわずかな隙間があり、ごみなどが捨てられていたようです。

警察と消防は、この隙間から火が出て建物の屋根を伝って隣接する建物に次々と燃え移ったとみてさらに詳しい火事の原因調べています。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

